

令和 2 年（2020）年度ズワイガニ太平洋北部系群の

管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人 水産研究・教育機構並びに、共同実施機関は、令和 2（2020）年度ズワイガニ太平洋北部系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、令和 2 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

管理基準値

- ・目標管理基準値、限界管理基準値、ならびに禁漁水準は、提案することができない。

チューニングパラメータ β

- ・管理基準値を提案できないため、 β については検討していない。

その他

- ・再生産関係のパラメータ推定に使用するデータは、令和元（2019）年度本系群の資源評価で推定された 1997～2013 年の親魚量およびその 5 年後の加入量を用いた。ただし、本系群では加入までの年数は明らかになっておらず、日本海系群の仮定を適用した。
- ・上記の仮定に基づく本系群の再生産関係として、ホッケー・スティック型再生産関係（HS）に残差の自己相関を考慮したモデルを提案した。
- ・現状の漁獲圧（ F_{current} ）のもとで資源が回復し得る親魚量を維持する基準を「管理基準値設定水準」と定義し、その基準を自然死亡係数（ M ）の値によって判断することを提案した。